

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月13日

上場会社名 株式会社GENOVA 上場取引所 東
 コード番号 9341 URL <https://genova.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平瀬 智樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 (氏名) 武田 幸治 TEL 03 (5766) 1820
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家及び個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

（1）連結経営成績（累計） （%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,491	—	1,059	—	1,038	—	641	—
2022年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2023年3月期第3四半期 642百万円（-%） 2022年3月期第3四半期 一百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	39.59	37.57
2022年3月期第3四半期	—	—

（注1）当社は、2022年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、2022年3月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

（注2）当社は、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	4,530	3,340	73.6
2022年3月期	2,819	1,492	52.7

（参考）自己資本 2023年3月期第3四半期 3,334百万円 2022年3月期 1,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,431	33.9	1,622	53.8	1,616	52.5	1,006	46.7	62.06

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注2）当社は、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。

（注3）1株あたり当期純利益は、公募による新株式数（728,100株）の発行を含めた予定期中平均発行済株式数により

算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	16,912,100株	2022年3月期	16,180,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	0株	2022年3月期	0株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	16,203,901株	2022年3月期3Q	ー株

当社は、2022年8月19日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年2月13日（月）に機関投資家及び個人投資家向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載及びTDnetに開示する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は、前第3四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、持ち直しの動きが見られた一方、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴うエネルギー価格の高騰、米国を中心としたインフレーションや記録的な円安の影響を受けた物価の高騰の影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境のもと、当第3四半期連結累計期間においては、メディカルプラットフォーム事業及び、スマートクリニック事業共に売上は堅調に推移しております。

また、売上が伸長する中、人員の採用と、教育・育成への積極投資を継続実施いたしました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

①メディカルプラットフォーム事業

メディカルプラットフォーム事業においては、PV数が引き続き順調に増加し月間969万PVとなりました。利用者の増加を背景に顧客事業所数が伸長したことにより増収となり、当第3四半期連結累計期間における契約件数は2,064件となりました。

この結果、セグメント売上高は2,751,056千円、セグメント利益は1,464,812千円となりました。

②スマートクリニック事業

スマートクリニック事業においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、営業活動が活発になりスマート簡易自動精算機/再来受付機を中心に顧客への導入が堅調に推移し、当第3四半期連結累計期間における契約件数は553件となりました。

この結果、セグメント売上高は1,348,096千円、セグメント利益は292,271千円となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,491,315千円となり、営業利益は1,059,502千円、経常利益は1,038,087千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は641,594千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,710,659千円増加し、4,530,004千円となりました。これは主に現金及び預金が1,753,782千円増加したこと、売掛金が86,319千円減少したこと、有形固定資産が33,235千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ137,900千円減少し、1,189,106千円となりました。これは主に短期借入金が62,370千円減少したこと、未払法人税等が106,659千円減少したこと、長期借入金が53,461千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,848,559千円増加し、3,340,898千円となりました。これは主に株式上場による新株発行により資本金が603,116千円、資本剰余金が603,116千円増加したことや、親会社株主に帰属する四半期純利益641,594千円を計上したことにより利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、2022年12月23日に公表いたしました「東京証券取引所グロース市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」をご覧ください。なお、当該業績予想数値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大は経済や企業活動に広範な影響を与える事象ではありますが、当社事業においては、現時点ではその影響は軽微であります。なお、収束が遅延し、影響が長期化した場合には将来において損失が発生する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,654,504	3,408,286
売掛金	723,120	636,801
その他	95,744	102,193
貸倒引当金	△32,887	△27,512
流動資産合計	2,440,482	4,119,770
固定資産		
有形固定資産	107,936	141,171
無形固定資産	5,042	4,613
投資その他の資産		
繰延税金資産	63,604	46,226
その他	202,278	230,162
貸倒引当金	-	△11,939
投資その他の資産合計	265,883	264,449
固定資産合計	378,862	410,234
資産合計	2,819,344	4,530,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	110,170	118,021
短期借入金	62,370	-
1年内返済予定の長期借入金	28,788	21,168
契約負債	281,336	311,108
未払法人税等	322,268	215,609
賞与引当金	15,000	8,750
その他	411,267	473,063
流動負債合計	1,231,200	1,147,721
固定負債		
長期借入金	64,569	11,108
その他	31,236	30,277
固定負債合計	95,805	41,385
負債合計	1,327,006	1,189,106
純資産の部		
株主資本		
資本金	115,000	718,116
資本剰余金	15,000	618,116
利益剰余金	1,354,597	1,996,192
株主資本合計	1,484,597	3,332,426
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,404	1,576
その他の包括利益累計額合計	2,404	1,576
非支配株主持分	5,336	6,895
純資産合計	1,492,338	3,340,898
負債純資産合計	2,819,344	4,530,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	4,491,315
売上原価	1,218,299
売上総利益	3,273,015
販売費及び一般管理費	2,213,512
営業利益	1,059,502
営業外収益	
受取利息及び受取配当金	119
解約金収入	2,673
受取手数料	2,002
その他	873
営業外収益合計	5,668
営業外費用	
支払利息	1,404
株式公開費用	25,082
その他	597
営業外費用合計	27,084
経常利益	1,038,087
特別利益	
固定資産売却益	2,394
子会社清算益	3,174
特別利益合計	5,568
特別損失	
子会社清算損	2,690
特別損失合計	2,690
税金等調整前四半期純利益	1,040,965
法人税、住民税及び事業税	380,434
法人税等調整額	17,377
法人税等合計	397,811
四半期純利益	643,153
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,558
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,594

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	643,153
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△827
その他の包括利益合計	△827
四半期包括利益	642,326
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	640,767
非支配株主に係る四半期包括利益	1,558

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月23日に東京証券取引所グロース市場へ上場いたしました。上場にあたり2022年12月22日を払込期日とする公募増資（ブックビルディング方式による募集）による新株式の発行728,100株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ602,866千円増加し、新株予約権の行使に伴い、資本金及び資本剰余金が250千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が718,116千円、資本剰余金が618,116千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2, 3)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	メディカル プラットフォーム事業	スマートク リニック事 業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315	-	4,491,315
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315	-	4,491,315
セグメント利益	1,464,812	292,271	1,757,084	116,104	1,873,189	△813,686	1,059,502

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△813,686千円は報告セグメントに配分していない全社共通費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	メディカルプラ ットフォーム事業	スマートクリ ニック事業	計		
一時点で移転さ れる財	2,679,310	1,111,646	3,790,956	149,716	3,940,673
一定の期間にわ たり移転される 財	71,746	236,449	308,196	242,445	550,641
顧客との契約か ら生じる収益	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への 売上高	2,751,056	1,348,096	4,099,153	392,161	4,491,315

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、WEB制作・保守事業、コンサルティング事業等を含んでおります。